tanii Kurata, *P.*×*suyamanum* Kurata, *P.*×*kuratae* Serizawa, *P.*×*kai-montanum* Serizawa and *P.*×*sarukurense* Serizawa) as a supplement to his work on the *Polystichum polyblepharum* complex in Japan.

引 用 文 献

大悟法滋 (1974). 植物研究雑誌 **49**: 371-378. 倉田 悟 (1957). 北陸の植物 **6**: 111-114. —— (1959). 同上 **8**: 14-18. —— (1964). 横須賀市博物館研究報告 **10**: 17-41. —— (1969). 同上 **15**: 44-48. 芹沢俊介 (1970). 植物研究雑誌 **45**: 262-266. —— (1971). 北陸の植物 **19**: 103-105. 志村義雄 (1970). 静岡大学教育学部研究報告 **21**: 29-44.

□奥山春季・奥山和子・原井敏子：**茶花植物図鑑** 231 pp. 内 pls. pp. 8-216, 1978. 主婦の友社，東京. ¥3,900. 茶花とはまことにうがった範囲であり，その内容も正にそれにぴったりのもので，一寸こにくい快感が味えるといった代物である。花や果実，若葉や紅葉など適切なものをえらび，各月に分けて記述したが，この記載も大小二つに区別して，植物学的記載は5行程にまとめているが中々興味がある。写真もよい。それに意慾的にキルタンツス，ゴモジュ，ハクサンボクなど新らしい茶花となるものを拾うなどにも意を用いている。ただ一つ気になるのは，トサミズキの説明にミヤマトサミズキの写真がでていたり，ギンランにササバギンランの図が出たりしていることで，最後に書き添えられてはいても，まぎらわしさは避けられないのは，やめて欲しかったと思う。 (前川文夫)

□津山 尚（編）：**石井勇義，ツバキ・サザンカ図譜** [Tuyama Takasi (ed.) : Ishii's selected Japanese camellias including sasanquas] 210 pp. 1979. 誠文堂新光社，東京. ¥18,000. 故石井勇義が生前ツバキとサザンカの完全な図譜を作ることを企画し，山田寿雄画伯に依頼し63枚の図版ができたのは昭和9年頃であったが，ついに出版されるに至らなかった。今度津山博士がその遺稿を整理編集し，解説をつけかえて出版されたのが本書である。その内容は大きく二つに分けられる。第1部には山田画伯の筆になるツバキ66品種，サザンカ46品種の実大彩色図版と石井氏の品種解説が組み合わされており，それに加えて石井氏の「ツバキ研究資料」からツバキ11品種の図が収録されている。次に津山博士による品種記載の補詮がつけ加えられ，サザンカの品種については山崎富佐子氏が協力した。更に本図譜成立の背景として，石井氏の生涯が津山博士独特の克明さをもってまとめられている。終りに津山博士による園芸品種命名の歴史と現状がのべられ，「文献の解説と余語」の項では仲々見ることのできない貴重な文献について正確な解説がつけ加えられて大変参考になる。 (原 寛)